

- 問1 ヤマト王権の王たちが「倭の五王」として中国の南朝へ繰り返し使節を送り、当時の国際社会において自らの地位を誇示しようとした主な背景と目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2024年 栃木県公立入試 類似)

1. 朝鮮半島における軍事的な指揮権を中国の皇帝に認めさせ、外交を有利に進めるため

2. 大陸から稲作の技術を導入し、国内の食料生産を安定させるための指導を仰ぐため

3. 最澄などの僧を派遣し、仏教を日本へ正式に導入するための許可を得るため

4. 坂上田村麻呂を派遣して東北地方を制圧するために、強力な武器の支援を求めるため
- 問2 古墳時代を代表する、前部が方形（四角形）、後部が円形の形状をした巨大な墳墓の名称として正しいものを選択してください。 (2019年 富山県公立入試 類似)

1. 方墳

2. 装飾古墳

3. 円墳

4. 前方後円墳
- 問3 古墳時代に大陸からの渡来人がもたらした技術や文化について、当時の状況を説明した文として最も適切なものはどれか。 (2024年 鳥取県公立入試 類似)

1. 表面に縄目の文様を施し、食料を煮炊きするための厚手の土器が各地で作られた。

2. 仏教が伝来し、寺院の屋根を飾るための瓦を焼く技術が初めて日本列島に導入された。

3. 木製農具や石包丁を用いた水田稲作とともに、赤褐色で薄手の土器が広まった。

4. 山の斜面を利用した穴窯を築き、高温で焼き上げる硬質の須恵器の製法が伝わった。
- 問4 千葉県最大級の前方後円墳である内裏塚古墳が築造された古墳時代の中期には、大陸との交流を通じて新しい製作技術が導入されました。この時期に生産が始まった「須恵器」の特徴を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2017年 千葉県公立入試 類似)

1. 青銅を原料として鑄造され、祭祀の道具として用いられた釣鐘型の道具

2. 弥生土器の流れを汲み、野焼きによって比較的低温で焼かれた赤褐色の土器

3. 山の斜面などに作られた窯を使い、高温で蒸し焼きにした灰色の土器

4. 表面に魔除けの意味を持つ縄目の文様をつけた、厚手で黒褐色の土器
- 問5 熊本県に位置する前方後円墳である江田船山古墳からは、金象嵌（きんぞうがん）で文字が刻まれた鉄刀が出土しています。この鉄刀に「ワカタケル大王」の名が刻まれていたことは、当時の日本におけるどのような政治状況を証明するものとして重要視されていますか。 (2022年 福島県公立入試 類似)

1. 大陸から伝わった仏教が、九州地方で最初期に受容されたこと

2. 縄文時代の交易ルートが、九州から関東までつながっていたこと

3. 九州地方に、近畿地方とは異なる独立した強力な国家が存在したこと

4. ヤマト王権の勢力が、九州地方にまで及んでいたこと
- 問6 縄文時代と古墳時代の出土品の違いについて説明した文として、最も適切なものを1つ選びなさい。 (2026年 徳島県公立入試 類似)

1. 埴輪は古墳時代に古墳の表面や周囲に並べられたが、土偶は縄文時代に折りや魔よけのために作られた。

2. 土偶も埴輪もどちらも古墳時代の副葬品であり、大仙古墳などの大型古墳から出土する。

3. 埴輪は縄文時代の集落跡から多く出土し、土偶は古墳時代の豪族の墓から出土する。

4. 鉄剣や銅鏡は縄文時代から用いられ、土偶は古墳時代になって権力の象徴として副葬された。
- 問7 日本最大級の規模を誇る前方後円墳である大仙古墳（大山古墳）が位置する場所として正しいものはどれですか。日本全国をいくつかの地域に分けた際、現在の大阪府堺市が含まれる地方の名称を選択しなさい。 (2024年 茨城県公立入試 類似)

1. 近畿地方

2. 関東地方

3. 東北地方

4. 九州地方
- 問8 埼玉県にある稲荷山古墳から出土した鉄剣には「獲加多支鹵大王」という称号が刻まれています。これと同様の称号が記された鉄刀が熊本県の江田船山古墳からも出土していることから推測できる、5世紀後半の日本の政治状況として最も適切な説明を選んでください。 (2021年 大阪府公立入試 類似)

1. 大和政権（ヤマト王権）の支配力が、関東から九州におよぶ広い範囲に広がっていた。

2. 各地域の豪族が独自の王号を名乗り、中国の王朝と直接外交を行っていた。

3. 東北地方から九州地方まで、完全に統一された律令国家が成立していた。

4. 邪馬台国の卑弥呼による統治が、近畿地方を中心に安定していた。
- 問9 3世紀後半から奈良盆地を中心に成立したヤマト政権において、各地の有力な豪族を従えて中心となった指導者が当時名乗っていた称号として、適切なものはどれですか。 (2026年 和歌山県公立入試 類似)

1. 大王

2. 天皇

3. 執権

4. 将軍
- 問10 4世紀から7世紀頃にかけて朝鮮半島や中国大陸から日本列島へ移住した人々は、それまでの土器とは異なる、黒っぽくて硬い「須恵器」の製作技術や、文字としての「漢字」などを伝えました。このような人々を何と呼びますか。 (2026年 山形県公立入試 類似)

1. 縄文人

2. 弥生人

3. 渡来人

4. 防人
- 問11 5世紀に「倭の五王」が中国の南朝へ繰り返し使者を送り、朝貢を行った背景や目的についての説明として、最も適切なものを選択してください。 (2024年 三重県公立入試 類似)

1. 日本独自の元号を定めるにあたり、中国の皇帝から許可を得ることで、東アジアにおける地位を確立しようとしたため。

2. 白村江の戦いでの敗北を受け、唐や新羅による日本侵攻を防ぐために、中国との友好関係を急いで構築する必要があったため。

3. 中国の皇帝から称号を授かることで、国内の豪族に対する統治の正当性を高め、朝鮮半島南部における軍事的な立場を有利にするため。

4. 冠位十二階や憲法十七条などの新しい制度を導入するため、先進的な政治体制を直接学ぶ官僚を派遣する必要があったため。
- 問12 古墳時代における渡来人の活動と、日本社会に与えた影響について述べた文として、正しいものはどれかを選びなさい。 (2021年 和歌山県公立入試 類似)

1. 朝鮮半島から移住し、漢字や仏教の伝来、須恵器などの陶質土器の製作技術を日本に伝えた。

2. 九州北部の防衛のために東国から派遣され、唐や新羅による侵攻に備えて沿岸を警備した。

3. 中国の優れた制度や文化を吸収するために日本から派遣され、小野妹子らがその代表である。

4. 平安時代に地方の政治が乱れる中、自らの土地を守るために武装し、後の武士の源流となった。
- 問13 6世紀の古墳時代に、朝鮮半島の百濟から日本へ仏教が公式に伝えられた際、経典や仏像とともに日本へ同時にもたらされたものとして最も適切なものはどれですか。 (2024年 群馬県公立入試 類似)

1. 磨製石器の製作技術と大規模な環濠集落

2. 寺院建築や彫刻などの高度な技術

3. 稲作の技術とそれに伴う青銅器の製造法

4. 銅鐸を用いた祭祀の習慣や青銅器文化